おひさま通信

仲間の様子と活動報告

＊大宮太陽の家＊

どの施設事業所も同じですが、大宮太陽の家も新型コロナウイルスとは無縁ではいられない日々を過ごしています。少し安心材料があるとしたら、それまでマスクをする習慣がなかった仲間たちも、日々のお菓子作りでマスクをするのが当たり前となっている環境があったことから、比較的抵抗感なく着用する人が増えたことが挙げられます。もちろん全員が出来るわけではありませんが、つけていない人を咎めるのではなく、マスクが苦手な仲間に、さりげなく「つけてね」と伝える仲間の姿から、伝えるその人はその人なりに、人を思いやっているのだろうなと感じています。

大宮太陽の家といえば、最近は、「改善」のこと、何よりも、皆さんにご好評のパウンドケーキを作っている事業所というイメージがあると思いますが、活動はそれだけではなく、以下の3つの班でしごとをしています。是非この機会に、それぞれの仕事班のことを知っていただき、改善関係の場でお伝えしている今の建物や環境と、今回の仲間たちの活動の様子をリンクさせて、思いを巡らせてください。

くろーばー班

ケーキ作りや販売を主な仕事としています。去年から始まった新型コロナウイルスによる影響は年を明けても猛威を振るい、くろーばーの仕事も変化を強いられる一年となり販売する機会が大きく失われました。

通常の販路を失われた中で私たち自身も変革しなくてはならないと考えました。これまでの大宮の内部販売に留まらず、今年度はみぬま福祉会内の他事業所にもパウンドケーキの定期便販売を拡げることにしました。

さらに昨年のクリスマスギフト、先日のバレンタインギフトではたくさんのご注文を頂き、仲間も仕事が出来る事、仕事がある事の喜びを感じることが出来、お陰様で給料も支払うことが出来ました。

今後も様々な社会情勢の中で柔軟性を求められると思いますが、仲間と共に美味しいケーキを届けられるように努めていきます。

はなみずき班

表現活動や製品作りを主な仕事としています。体力づくりやリフレッシュを兼ねて散歩に出かけたり、季節にちなんだ制作をして飾ったり、DVD鑑賞をしたり、仕事の他にも様々なことを楽しんでいます。それぞれの好きなことや得意なことを仕事に活かせるように…と仕事内容は三者三様です。3人の小集団の班ですが、昼食・休息時間・イベントは隣のくろーばー班と同じ棟の仲間として一緒に過ごしています。仕事はそれぞれのペースを大切にしながら取り組み、その他の時間はたくさんの仲間たちとの関わりを楽しんでいます。

ふらわー班（さくら草とあさがお室）

表現活動と雑貨製品づくりを主に取り組みとしている班です。基本的には、一人ひとりそれぞれのペースで仕事に取り組んでいます。人数的な都合もあり、自主的な活動や生活を目指すさくら草室と、穏やかに過ごしつつより丁寧な関わりを持つあさがお室とに部屋は分かれていますが、全体の取り組みでは一緒に活動をしています。

今年度はコロナ禍で作品を展示する場所や雑貨製品の販売の機会が少なくなり、それに伴って仕事内容を見直しました。「お給料を稼ぎたい！」と望む仲間たちに対し、『パウンドケーキの大宮太陽』としては、やはり製菓班であるくろーばー班の収益は無視できるものではなく、特に今年度は雑貨等の販売が難しい中ではくろーばー班の活動を作業面でどう応援していくかを考えていこうと仲間たちと相談をしました。大きな発注のある時には表現活動をお休みして、ラベル貼りや仕分けなどの仕事にも取り組もうと決め、がんばっています。

仕事以外でも活動が制限される部分は多く、昨年度から行っていた月に一度のお楽しみデーでは、密となる車に乗っての外出が難しくなりました。室内で楽しむことを目的とした内容に変わり、何に取り組みどんな内容にしていくのかということまで話し合って決めています。自分の意見を通す為に仲間を巻き込み、みんなが楽しめる内容の提案と集団を意識する機会にもなっています。それらは日々の活動にもフィードバックされ、日中に個々でカードゲームをしたり、公園等への外出では互いに声掛けしながらバトミントンを用意したりする様子もみられています。

改善に向けて

どの班の仲間も職員も、今できることに精一杯取り組んでいます。常々、改善に於いて「どんな大宮太陽の家にしたいか」と聞かれますが、ここで今がんばっている仲間や職員が、建物や環境に左右されずに、力を発揮できる場所をまず用意したいというのが今の願いでもあり原動力にもなっています。

本日も、大宮太陽の家は元気に営業中です。パウンドケーキやその他製品のご注文をお待ちしています。

大宮太陽の家施設長　高橋　守

響き

川口太陽の家

今年は、川口太陽の家の仲間から3人が成人、1人が還暦を迎えることができました。コロナ禍で法人全体の式典はありませんでしたが、施設内で仲間たちとともに、お祝いの会を開きました。あたたかなメッセージカードや動画などをみんなで準備し、人生の節目をお祝いしました。

大　地

大地では月二回、園芸療法の先生が来て下さり活動をしています。最近は、節分のお面やバレンタインのカード作り、春の窓飾りなど春を感じながら楽しく作成をしています。「ドライブして桜見に行きたい」と桜の季節を心待ちにしています。

地域活動支援センターたいよう

地活たいようでは、コロナ対策を実施しながら、豆まきを行いました。流行りを意識して鬼滅の刃のお面を被ってみましたが、鬼をやっつける側なのになんで豆を投げつけられているのかと、ごもっともな指摘を受けてしまいました。

お弁当会も引き続き行っているのでコロナに気を付けながらも楽しい日々を送っています。

太陽の里

里では福笑いと豆まきなど季節的な余暇をして過ごしています。豆まきは豆の匂いがユニット内に広がり、匂いでも節分を感じることができたのではないでしょうか。コロナ収束を願って、仲間・職員皆が健康で暮らせるように願いを込め『コロナと鬼は外！福は内！』

白岡太陽の家にじ

今、にじの畑ではじゃがいも、にんにく、玉ねぎ、大根を育てています。じゃがいもを植える作業はじゃがいもを切って、灰を付ける作業からラベンダー班の仲間が3日かけてがんばって植えてくれました。今年は、男爵、きたあかり、メークインの3種類を植えました。にじのじゃがいもは、美味しいと評判なので、今から収穫が楽しみです！

蓮田はすの実作業所

はすの実では、「春らしくなってきたね」など話しながら、みんなで仕事を頑張っています。2月、緊急事態宣言が続く中、仲間会発案でコロナウイルス対策の勉強会をしました。動画で手洗いやマスクのつけ方など注意点を見て、クイズに答えたりしました。仲間手づくりのポスターも貼っています。